

キャンパス紹介

武蔵野大学薬学部

武蔵野大学薬学部(東京・西東京市)は、日本で唯一の佛教系薬学部として2004年4月に新設された。一般用医薬品や香粧薬学、セルフメディケーションに必要な病理・病態学など、特色あるカリキュラムを組む一方、臨床実習

など実践教育にも力を入れており、昨年末には模擬保険薬局と模擬病院薬局が完成した。また少人数教育を導入し、教員がアドバイザーとして学生一人ひとりの相談にものるなど、学生の人格育成にも目を配っている。

教育の根本は仏教精神

斎藤洋薬学部長は教育方針として、「乱立する薬学部同士が過当競争をする中で、多くの大学で、いかにして国家試験に合格するか」ということが教育の中心になりつつある。しかし本当に重要なことは、国試に通った後に、どのような薬剤師となるかをきちんと教えることだ」と理念を語る。

さらに今後、医師の専門化がますます進んでいくとの見通しの下、「病気になった時、最初に相談に行く場所として薬局の重要性が高まるだろう」とし、セルフメディケーションで重要な機能形態学や病理・病態学、薬物療法学に力を入れていく方針だ。

設立当初から取り組んでいる、一般用医薬

品や香粧薬学といった特色ある教育も、3年目を迎えてますます充実し

てきている。また、専門教育の理解度を高めるため基礎教育を重視しており、1年次に高等学校の物理・化学・生物・数学を再学習させ、学生の基礎学力強化を図っている。

また、1学年約120人という少人数教育も、同学の大きな特徴の一つ。大学生活の中ではいろいろな問題が出てくる。同学では仏教精神を貫き、親身になって学生一人ひとりの相談にのっている。それを可能としているのが少人数教育といえる。



薬学部長の斎藤氏



模擬病院薬局にある無菌製剤室に設置されたクリーンベンチ

保険薬局に分かれ、さらに保険薬局は中規模と小規模の2通りに分かれている。

中規模薬局は電子薬歴やレセコン、薬袋発行機などが設置されている。1~2人の薬剤師が働くことを想定した小規模薬局は、薬袋なども自分で書く練習をすることができる。

二つの保険薬局の中央には、投薬・OTCコーナーが設けられ、患者接遇や服薬指導のロールプレイができる。

一方、病院薬局はオーダーリングシステムなどを導入している大規模な病院を想定しており、調剤室、注射薬調剤室、混合・無菌製剤室、チーム医療室、TDM室、医薬品情報室の6部門を設けて、最先端の機器を配備した。

保険薬局が計数調剤をメインとしているのに対して、病院薬局は計量調剤も実習する。そのため水剤・散剤調剤台には、水剤鑑査システムや散剤鑑査システムも備わっている。無菌製剤室には2台のクリーンベンチと1台の安全キャビネットがあり、模擬エアシャワーもついている。

昨年末に完成した模擬薬局は、今年9月から3年生の実習に初めて使われることになる。学生は模擬保険薬局と模擬病院薬局の2手に分かれ、2カ月間実習を行う予定だ。

実践を通した薬剤師の育成

少人数教育で学生生活を支援



は、大型の動物実験室やP2実験室、無菌室やNMR室、恒温恒湿室、低温室、顕微鏡室から電子顕微鏡室など、最新の設備が整えられている。研究所が完備されているため、同学ではハイレベルな基礎実習や実験を行うこともできる。

臨床実習にも力を注いでおり、昨年末には模擬薬局が完成した。模擬薬局は病院薬局と

総合的な学部校舎が完成
臨床実習施設の充実化図る

05年9月に完成したばかりの薬学部校舎である8号館は、7階建てで地階が薬学研究所となっている。1階部分は模擬病院薬局実習室と模擬保険薬局実習室が大半を占めており、2~5階が教室、6、7階が教員の部屋だ。教員と生徒がいつも一つの建物にいるため、「生徒が気軽に教員に相談できる雰囲気があるのが良いところだ」と斎藤氏は話す。

模擬薬局に先だって完成した薬学研究所に

は、大型の動物実験室やP2実験室、無菌室やNMR室、恒温恒湿室、低温室、顕微鏡室から電子顕微鏡室など、最新の設備が整えられている。研究所が完備されているため、同学ではハイレベルな基礎実習や実験を行うこともできる。

臨床実習にも力を注いでおり、昨年末には模擬薬局が完成した。模擬薬局は病院薬局と

創造する企画する開発する調剤薬局



薬学生のみなさん、はじめまして。私たちあさひ調剤は関東・福島・静岡の1都5県に83店舗を展開する調剤薬局です。創造する企画する開発する調剤薬局として、患者様の利益を考えた数々の独創的アイデアをカタチにしてきました。例えば、全国に普及し今ではすっかりポピュラーになった薬のカラー写真付き薬袋は、あさひ調剤が日本で最初に開発したものです。教育に関する限りでも業界をリードしていると自負しています。5年にもわたる教育研修システムは極めて実践的でクオリティが高く、勤務シフトやスケジュールの都合で未受講にすることはできません。また、研修に限らず、業務をバックアップし、個々の向上心と探究心を満たす数々の支援制度を用意しています。ぜひ、みなさんと一緒に医療に貢献できることを楽しみにしています。

株式会社あさひ調剤

<http://www.asahi-ph.co.jp>

0120-80-4193 採用担当/山口、春日 T331-0814 埼玉県さいたま市北区東大成町1-626-1 TEL.048-663-8801 FAX.048-663-8802

設立/1981年10月 資本金/5,000万円 売上高/162億円(2006年7月期) 従業員数/620名(薬剤師391名) 事業内容/調剤薬局の経営、居宅介護支援事業、薬局のフランチャイズ 事業所/直営店舗:埼玉県53店舗、茨城県13店舗、福島県9店舗、千葉県4店舗、東京都3店舗、静岡県1店舗 出店予定地区:群馬県

あさひ調剤

